

木津川市立図書館協議会 会議経過要旨

会 議 名	令和元年度 第3回 木津川市立図書館協議会		
日 時	令和2年2月28日(金) 午後2時～午後4時30分	場 所	木津川市立中央図書館 2階 視聴覚室
出 席 者	委 員	■中下和男会長 ■池田加津子副会長 ■河瀬敦子委員 ■下浦悦子委員 ■西岡清美委員 ■福森真知委員 □松本也寿子委員 ■山本欽一委員 ■渡邊美秀子委員	
	事 務 局	大内図書館長、山岡中央図書館係長、池田中央図書館担当係長、寺田山城図書館担当係長、森井加茂図書館主査	
傍 聴 者	0名		
議 題	① 令和元年度管外視察研修のまとめについて ② 令和2年度 図書館運営について 予算・カレンダー・各種事業 ③ その他		
会 議 結 果 要 旨	1 開会 開会宣言 委員8名の出席により、会議が成立していることを確認した。 2 会長あいさつ 中下会長より開会のあいさつがあった。 3 議題 中下会長が議長となり、議事を進行した。 ①城陽市立図書館 視察のまとめ 事務局より資料に基づき説明した。 説明内容について、一定の理解があった。 ②令和2年度 図書館運営について 事務局より資料に基づき説明した。 説明内容について、一定の理解があった。 ③ その他 1. 図書館の利用状況について 奈良市立北部図書館及び市内3図書館の木津川市民の利用状況について、事務局より資料に基づき説明した。		

	<p>説明内容について、一定の理解があった。</p> <p>2. 今後の取り組みについて 説明内容について、一定の理解があった。</p> <p>4 副会長あいさつ 池田副会長より閉会のあいさつがあった。</p> <p>5 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p> <p>◎：会長 ○：委員 ⇒：館長 →：事務局</p>	<p>1 開会 ～ 2 会長あいさつ 会議結果要旨のとおり。</p> <p>3 議題</p> <p>①城陽市立図書館視察研修のまとめ 【資料】資料1-1 令和元年度木津川市立図書館協議会管外視察研修 資料1-2 城陽市立図書館管外視察研修—写真集— 【説明】 事務局より資料に基づき説明した。</p> <p>【主な質疑・応答、意見】 ○：市民からも要望があるので木津川市にも自習スペースについて検討するの必要を感じたがどうか。 ⇒：アンケート等これまででもいただいているご意見、ご要望であるので前向きに検討を進めていく課題と考えている。後ほど説明する。</p> <p>②令和2年度図書館運営について 【資料】資料2-1 令和2年度木津川市立図書館当初予算の状況 資料2-2 年間カレンダー 資料2-3 主な事業一覧</p> <p>【説明】 事務局より資料に基づき説明した。 ◇予算について大きく変わった2点を説明した。 ①図書館の運営事業費は、会計年度任用職員制度導入による雇用形態の変更により、今まで正職員と同じ予算枠となっていた嘱託職員の分と臨時職員賃金として計上していた分がまとめて会計年度職員の報酬関係の予算となったため大幅な増加となっている。 ②加茂図書館の利用は増加傾向にあるが、所蔵数は3館で一番少ないので、加茂の図書等購入費を増額するため、中央から9万円、山城から9万6千円減額して調整した。今後も状況に応じた予算配分を考えていく。 ◇年間カレンダーに基づき、開館日数は、中央・加茂は、276日、山城は、280日と説明した。 ◇各種事業について、新型コロナウイルスのことも念頭に置きながら、3館共通で行うものと各館ごとにそれぞれ主だったものを説明した。</p>

【主な質疑・応答、意見】

○：大学生のインターンシップの受け入れはあったのか。

→：2人あった。木津川市での体験の一部として受け入れた。

○：図書館司書資格取得の人も受け入れられているのか。

→：1人受け入れた。毎年あるわけではないが、大学を通じ、地元の図書館で研修したいと希望された方について受け入れている。

○：「音読ひろば」は、山城図書館だけの行事か。

大人が集まっての大人の読み聞かせというのがどういうものか楽しみにしていた。

⇒：山城だけで行っている。今年は、既に2回実施していて、コロナの件で3回目が中止となり残念だ。

○：山城図書館でのカルタの取り組みがすごく良いことだと思った。著作権のこと等、小さい時から知らず知らずのうちに意識づけられ図書館のことを覚えてもらえる。

⇒：図書館は、学習の場でもあると思っているのでいろいろな機会を通じて教育や学習につながる情報を発信していきたい。

◎：郷土の展示を行うことは、非常に良いこと。講師に学校の先生を招いて、小学3、4年生向けの歴史の講座などを開催すると、本の貸出以外にも目が向く子どもが増えてくると考える。検討を願う。

○：利用者数を増やす手段として、展示を活用するなど、図書館に足を運ぶ、目が向く機会を増やす取り組みを増やして欲しい。

③その他

【資料】資料3-1 奈良市立北部図書館の利用の推移

資料3-2 木津川市立図書館の利用状況

【説明】資料に基づき説明した。

◇奈良市立北部図書館の利用状況について

平成30年9月30日から木津川市民が奈良市立北部図書館を利用できるようになり、現在でも新規登録が続いている。貸出人数は、北部図書館全利用者数の9%から10%台に増加して推移している。広報等を行うことで多く利用いただいているようである。

◇木津川市3館の利用状況について（昨年度と今年度の8月で比較）

既設3館合計は、微減している。地区別に見ると木津地域から加茂山城図書館を利用している利用者が一定あることがわかる。加茂図書館は、加茂地域内の利用は減少せず、横ばいである。中央と山城は、微減しているが、中央の要因として移動図書館の廃止と北部図書館の利用開始でそちらに利用が流れたと考えられる。ただ、北部図書館の利用も含めると木津川市民の図書館利用は、全体として微増している

	<p>と捉えている。</p> <p>市民には、4館を効果的に利用頂きたく、また、幅広い年代の方にご利用いただけるように今後は、利用面の向上充実を図っていきたくと考えている。</p> <p>◇開館時間の変更について 開館時間を9時30分にするについて、周知を図っている。</p> <p>◇今後の取り組みについて アンケートでのご意見等から利便性向上に向けて取り組める課題について検討していく。 特に自習室・席について取り組んでいきたい。</p> <p>【主な質疑・応答、意見】</p> <p>○：木津駅東側の新しい団地の住民からは、図書館に対する要望は出ていないのか。 ⇒：要望は出ている。城山台は、急激に人口が増えてきており、要望が上がってきてやすい実情がある。木津地域東部に図書館の建設を求める要望もあるが、市の財政状況もあり、出来ることから進めていきたい。</p> <p>○：加茂や山城に木津エリアの市民の利用者が一定数出てきている。国道163号線が開通するとまた往来しやすくなるが、各ホールで何か催しがあったらそのついでに図書館を利用することということを考えることが大事だと思う。 ⇒：木津エリアの市民が、他の地域の図書館を利用されている状況を見ると中央図書館の利便性に課題があるのではないかと考える。色々な課題を解消することはなかなか難しいが、市立図書館全体としての利用を伸ばしていくことを目標にすることも方策の一つと考える。足を運んでもらいやすくするために、図書館以外の事業とのタイアップを視野に入れていきたい。</p> <p>○：新しい道も出来るので、図書館を案内するマップを作成してはどうか。 ⇒：趣向を凝らして、利用に結びつくような企画を検討していきたい。</p> <p>○：広報きづがわのページをゆっくりと見開きでみられたらいいと感じている。</p> <p>○：図書館での展示は、どこが企画しているのか。広報はされているのか。 ⇒：情報発信に努めていく。</p> <p>○：図書不法投棄事件は、その後どうなったのか。 ⇒：被害届は提出しているが、捜査は進んでいないようだ。</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>議事に先立ち、大内館長と山岡係長より、新型コロナウイルス感染症関連の市及び図書館の対応について報告した。</p>